



地域のきづな・つながりのある福祉のまちを目指して

与那原町社会福祉協議会

Instagram

始めました

フォローして
社協に「いいね!」を
お願いします!



社協事業のイベントや
活動等を案内、紹介します

広報誌だけじゃ伝わらない、「福祉」をもっとポップに、そして「なんか楽しそう!」と思えるような、私たちの活動や地域のステキなニュースをどんどんお届けしていきます。



YONABARU_SHAKYO



お手持ちの
スマートフォンから
QRコードを読み取るか
ID検索をしてください



いきいき人生

～老人クラブ会員紹介～



赤嶺 多賀子さん(当添区)

老人クラブに入ったきっかけは？



人生の締めくくりとして、生まれ育った故郷で自分がやってきたことを恩返ししたいという思いがずっとありました。まだ余力がある内にと、沖永良部島から帰り、今年の1月に即加入しました。



会員同士の交流を目的にした「ゆんたく会」をはじめ、区で行っている地域の居場所「むらやー食堂」でのボランティア、公民館の掃除、定例会などに参加しています。月ごとの行事で特に重要なものをまとめた「若松会だより」を発行し、会員増強につなげています。

普段どのような活動に参加していますか？



印象に残っているエピソード、やりがいを感じることは？



10月の当添まつりで、小さい頃に踊っていた思い出の盆踊りを復活させたところ、「こんな動きもあったね～、懐かしいね～」と喜ぶ姿を見て、やってよかったなと思いました。自分が率先して動くことで「楽しい」と言ってくれる人が増え、会員も少しずつ増えてきました。しばらく離れていた方も戻ってきてくれて「当添変わったね～、楽しそうね～」と声をかけてもらえると、本当にやりがいを感じます。



入ってよかったことは、地域の人を知れたことです。人や社会との関わりが自分の成長につながり、みんなからパワーをもらって体も心も健康でいられます。やーぐまいせず、今できること自分のやりたいことに挑戦しながら、悔いのない人生を送りたいと思っています。

老人クラブに入ってよかったこと、これからの目標を教えてください



▶南部地区老人クラブレク大会へ参加
赤嶺多賀子さん(当添区) 前列左



ちょこっとボランティア



あなたの意識が変わるかも!?

町内を散歩していると、おひとりごみ拾いをしている方々をよく見かけます。そういった方々に話しかけてみました。

出かけるついでにやっているだけ



ただの習慣だよ



自分のためにやっていることだから



普段の生活の一部だから



…などなど、心が洗われるような答えが返ってきました

ごみ拾いをしている人を見て自分もやり始めたよ～
…という方々も数名いらっしまったので、こういった素敵な連鎖が続いているのですね!



「ボランティアはできるときにできることから」が基本です。
ちょこっと意識するだけで人も町も変わっていけるんですね!



与那原町社会福祉協議会職員採用試験の案内

応募期間 ▶ 令和7年11月4日(火)～令和7年12月1日(月)

採用予定日 ▶ 令和8年4月1日

試験日 ● 第1次試験(小論文): 令和7年12月14日(日)
● 第2次試験(面接): 令和8年1月10日(土)

※詳細事項については下記の与那原町社会福祉協議会HPへアクセスしてご確認ください。

<https://yonabarushakyo.com/>

お問い合わせ先 ▶ 社会福祉法人 与那原町社会福祉協議会 ☎945-3016



正規職員1名



入社2年目の職員へインタビューしました

Q.入職して2年目、今の気持ちは。

A.地域の方々と関わる中で、いろいろなお話を聞けるのが楽しいです。日々の業務の中で学ぶことも多く、自分自身の成長を感じながら仕事ができています。

Q.職場の雰囲気はどうか。

A.職員同士の距離が近く、困ったときにはすぐに声をかけ合える温かい雰囲気です。わからないこともすぐ相談できるので安心して仕事に取り組んでいます。



Q.やりがいを感じる瞬間は。

A.相談者の方や地域の方から「ありがとう」と声をかけていただいたときは、本当にうれしく思います。小さな支えでも誰かの助けになれたと感じられる瞬間が、この仕事の一番の魅力です。地域全体が少しでも元気になれるように関わっていけたらと思います。

社会福祉法人による公益的な取組紹介

公益的な取組とは

- 社会福祉法人は、社会福祉事業の担い手として、専門性や資源を活かし、地域のさまざまな福祉課題に対応するための活動をしています。この活動を「公益的な取組」と呼びます。



ご家庭で余って使わない食品などを必要としている方へ譲ってください!

公益的な取組①

社会福祉法人が取組むフードバンク活動

フードバンクとは、企業や農家、家庭から、まだ安全に食べられるにもかかわらず様々な理由で使う事ができない(賞味期限が近い、たくさんあって食べられない)を寄付してもらい、それを生活に困窮している方へ提供する活動です。

町内社会福祉法人では、フードバンク箱を設置し定期的に社協へ寄付し緊急時や生活が困窮した際に配布を行っています。

公益的な取組②

保育園と高齢者が交流する「世代間交流」

社会福祉法人が運営する保育園と地域ミニデイが連携し、世代を超えた交流を行っています。開催される交流会では、保育園の子どもたちが公民館を訪問し、歌や踊りを披露したり、一緒に手遊びをしたりします。子どもたちの元気いっぱい姿は、高齢者の皆さんに活力を与え、自然と笑顔があふれます。一方、子どもたちにとっても、高齢者と触れ合うことで、優しさや思いやりを育む貴重な機会となります。



子ども達と触れ合うことで高齢者が笑顔に!

与那原町社会福祉大会

第1部 大会式典・表彰式

[13:30~14:30]

第2部 記念講演

[14:45~16:00]

「世代を超えてつながる
音楽のちから」 山原 麗華 氏

同時開催
10:00~開始

社会福祉
事業所による
展示・物品
販売

「町内子どもの
居場所」による
プレーパーク



山原 麗華 氏

11月15日(土)

与那原町上の森かなちホール

会場・受付 (13:00~)



山原麗華氏 プロフィール

- 令和5年8月より、演歌歌手 吉幾三に師事。楽曲提供してもらい、歌の指導を受けている。
- 吉幾三の事務所、幾三音楽出版と歌手契約・作詞家契約を結んでいる。
- アコーディオンで昭和歌謡を歌う傍ら、ラジオパーソナリティやイベント等に出演。
- 高齢者からの支持が高く、年間のコンサート出演本数は420講演を超える。
- 笑福亭鶴瓶さんより「沖縄にタモリさんのような原石が居る。山原さんの笑い声は全国を元気にする」と言われ注目される。ラジオ沖縄のレギュラー番組では毎週、アコーディオン生演奏を行っている。

ご寄付ありがとうございました

令和7年8月20日~
令和7年10月17日受付分

—— みなさまからの善意のご寄付に対しまして厚くお礼申し上げます ——

◎ 一般寄付	匿名(当添区)	4,700円	社会福祉事業のため
◎ 香典返し	照屋 勤 様(森下区)	故 母:照屋 美代 様	30,000円

ご逝去された方のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともにご遺族様のご厚情に対しまして心より感謝申し上げます。

編集発行 社会福祉法人 与那原町社会福祉協議会

与那原町字上与那原16番地の2

TEL(098)945-3016/(098)882-9677 FAX(098)946-7970

E-mail:yo-shakyo@leaf.ocn.ne.jp HP:https://yonabarushakyo.com/



ボランティア
登録・依頼はこちら⇒

